

※※※※※※※※※※※※※※※※

令和 2 年度
事業報告

※※※※※※※※※※※※※※※※

1. 公益目的事業

1. 農作業支援事業

○農作業関係

2月に春の農作業（耕耘、代掻き、田植え、江立て）申込書を発送し、周知を図る中で3月中に取り纏めを行なった。7月には秋作業（刈り取り・耕耘・代掻き、そば関係）について取り纏め作業を実施した。

作業支援の傾向としては、高齢化による生産組織への貸付けにより全般的に減少傾向にある。また、従来 of 公社を通しての再委託も減少し、生産組織と直接農作業受委託され、作業料金も直接精算されるケースが多くなってきている。

公社から各集落の生産組織に再委託した件数、面積は下記のとおりであり、作業料金の精算事務は公社において行ない、手数料として双方より1%を徴収している。

生産組合名	再委託内容
岩神生産組合	稲刈り 0.77ha
泉山ゆり機械生産組合	春耕耘 10件 58.7時間、田植え 7件 632.7 a 秋耕耘 9件 78.8時間

作業料金については、上越市農業委員会の作業料金表と同額とし、田の管理状況に応じ一部割増料金を徴収している。

○地域マネジメント組織関係

市の単独事業は牧区農業振興会の「地域マネジメント組織」が事業主体となり、庭先集荷サービス事業及びふるさと玉手箱事業を実施した。

庭先集荷事業については、9名の参加者により、4月10日より12月末までの週2回実施し、108品目・12,080点、売上高2,707,670円であった。

各農家で生産された農産物や山菜等を集荷し販売することで所得の向上と生産者の情報交換の場として今後も期待される事業である。販売先は主として「あるるん畑」である。

また、年末にはふるさと玉手箱事業に取り組み、雑煮やお汁粉、ズイキの粕汁等の材料などと併せ、米や農産物をセットにしたふるさとの懐かしい味をお届けした。

販売促進については、久里の木会、棚田オーナー、東京牧村会、Jネット等へのチラシを配布し88名に発送した。

○牧ライスセンター等管理運営関係

令和2年度も、JAと施設業務委託契約書に基づき業務を実施した。

・ライスセンター部門

取扱量は、1,399,900 kg（コシヒカリ 592,582 kg、こしいぶき 103,152 kg、加工米 236,423 kg、みずほの輝き 147,487 kg、つきあかり 320,256 kg、）となって

いる。

稼働率については、近年の飼料米、加工米の需要拡大により、他の地域からの持ち込みが多くあったため、稼働率は 94.8%と前年度よりも 9 ポイント増となった。

要因としては、前年度に比べて全般的に豊作であったことが増につながった。しかし、JA の取り纏めよりも実際は自己米確保のため他法人等への移動が多かったことと、JA 上越営農センター管内の他施設の稼働状況も勘案しながら調整が図られるため、100%の稼働率に届かず、今後もこのような現象が続くと思われる。

雇用については、JA 営農指導員 2 名と公社職員 2 名他雇用者で実施したが、雇用者の高齢化が進み最盛期には負担が多くなってきている。

また、施設も老朽化し、雨漏りや機械の修理が多く発生すること稼働中のトラブルが懸念されるため JA に改善を申し入れている。

・育苗部門

取扱量は、中苗 8,226 枚、稚苗 5,068 枚、合計 13,294 枚と前年度より 1,100 枚ほど減となった。

・そばセンター部門

そばの取扱量は、51 t であった。ソバは天候が左右されるため、長雨や台風の影響による倒伏が多く、雑草の種子や土などの混入が見られ等級の格落ちが発生している。また、獣害による被害も年々多く発生し、収量が激減している地域もある。

粗選機、乾燥機等機械設備の老朽化も進み、機械の更新が急務となっている。

2. 農地保全事業

2 年度新たに檜谷 12.2a、原 70.45a、下昆子 69.15a、小川 7.14a、国川 38.49a を借り受け、高谷 37.09a、倉下 54.11a 返還し、作付面積は、3,155.15a(水稻 2008.92a ,畑 1146.23a)となった。

収穫量は、2,740 袋(平均反収 6.9 俵)で、1 等米比率は 72%となった。

販売先については、JA へコシ 137 袋・つきあかり 693 袋・もち米 92 袋、鈴波へコシ 250 袋、ハラキンへコシ 616 袋・どんとこい 207 袋、独自販売 944 袋となっている。

そばについては、1,835.5 kg の収穫量で種子用保有以外は JA へ出荷した。

3. 農地利用集積円滑化事業等

○農地利用集積円滑化事業

農地利用円滑化事業は、公社が借入団体となり受け手に貸し出す制度で、平成 24 年度に認定を受け、契約事務及び更新の手続きを行ってきたが、中間管理事

業の実施により、制度が廃止されたため今後更新時には中間管理事業へ順次移行されることになっている。令和2年度中に中間管理機構への移行した件数は3件、192a となっている。

○農地中間管理事業業務委託

2年度も引き続き、農用地利用集積計画に基づく出し手からの相談・受付、賃借期間や賃料の協議、契約締結等の事務を行なう委託業務を実施した。

「人・農地プラン」に基づき、機構に農地を貸し付けた場合は、地域に対する支援として「地域集積協力金」、経営転換・リタイヤする場合の「経営転換協力金」、農地の集積・集約化に協力する場合の「耕作者集積協力金」など出し手に対する支援制度がある。

4. 中山間地域等直接支払業務委託事業

事務局（広域活動）

- ・ 中山間地域等直接支払交付金 事務処理
- ・ 交付金交付申請・実績報告
- ・ 活動報告書作成・支払
- ・ 超急傾斜農地保全活動（販売促進用チラシ、発送用袋作成）
- ・ 業務委託の集落数：23 集落

2年度交付金額	79,858,219 円
元年度繰越金	127,050 円
内 個人への支払額	42,665,591 円
共同活動への支払額	25,187,810 円
協定事務費	2,000,000 円（内公社受託費 1,139,914 円）
基金積立（事業繰越）	10,131,868 円

5. 多面的機能支払交付金事業

事務局（広域活動）

- ・ 組織の広域化・体制強化
- ・ 研修会への参加
- ・ 多面的機能支払交付金事業の事務処理
- ・ 業務委託の集落数：15 集落

2年度交付金額	11,736,602 円
元年度繰越金	3,395,837 円
支払額 農地維持支払・資源向上（共同活動）	8,334,233 円
資源向上（長寿命化）	1,824,700 円
事務局費	1,349,400 円
	（内公社受託費 785,360 円）

令和3年度へ繰越 3,624,106 円

6. 都市と農村交流事業

棚田オーナー会員 8名

会員募集については、東京牧村会の会報掲載と、米購入者にDM等で募集している。しかし、会員の高齢化と、体験ツアーの日程が合わずに米の発送と地域の情報提供のみとなっている。

・会費…年会費 29,000円

・会員特典…棚田米精米 40kg又は玄米 50kg、田植え・稲刈り体験ツアーへの参加

2. 収益事業

地域保全管理事業

1. 牧区水道施設管理業務

上越市ガス水道局：「牧簡易水道配水管路草刈り業務委託」

業務内容 L=3,000m W=2.0m

L=400m W=4.0m

枝払い・片付け・諸経費・税

実施時期 令和2年6月5日～6月26日

2. 道路除排雪業務

○上越市：「道路除排雪委託業務」

委託内容 除雪車貸与 日立1台・ロータリー車1台・キャタピラー1台
市道除雪 13路線 L=6.31km 他公共施設駐車場内
スノーポール設置 229本

委託期間 令和2年12月1日～令和3年3月31日

○上越市：「道路春先除雪委託業務」

委託内容 除雪車貸与 ロータリー車 1台
道路春先除雪計画に基づく除雪

委託期間 令和2年4月1日～令和3年5月31日

○上越市：「林道春先除雪委託業務」

委託内容 除雪車貸与 ロータリー車 1台
林道春先除雪計画に基づく除雪

委託期間 令和3年4月8日～令和3年4月30日

3. 会議

令和2年5月25日 監査会

・元年度事業及び決算に関する件

令和2年5月28日 理事会

・令和元年度事業報告及び決算に関する件

- 令和2年6月16日 評議員会
 - ・ 定時評議員会開催に関する件
 - ・ 令和元年度事業報告及び決算に関する件
 - ・ 評議員の改選に関する件
 - ・ 役員改選に関する件
 - 令和2年6月16日 理事会
 - ・ 理事長の選定に関する件
 - ・ 副理事長の選定に関する件
 - 令和3年3月26日 理事会
 - ・ 令和3年度事業計画及び予算に関する件
 - ・ 長期借入限度額に関する件
 - ・ 定時評議員会開催に関する件
 - 令和3年3月29日 評議員会
 - ・ 令和3年度事業計画及び予算に関する件
 - ・ 長期借入限度額に関する件
- 各種研修会、会議に参加